

ハマボウフウの軟化に適した資材

福島県農業試験場いわき支場
平成17年度試験成績概要

1 部門名 野菜－その他生葉及び香辛類－施設資材
分類コード 03-31-35000000

2 担当者 常盤秀夫・石郷岡典子

3 要 旨

ハマボウフウの軟化は、通常、伏せ込み床において、通常は株上に盛り土をして行う。ここでは、生産物の土汚れ防止等をねらいとした盛り土に代わる軟化資材を検討した。

(1)収量は、軟化資材にもみ殻および海砂を用いた方が、慣行の畑土を用いた場合より多かった。

(2)収穫物の汚れの程度は、もみ殻の場合が最も低く、海砂、畑土の順に汚れが増加した。

以上の結果、畑土に代わるハマボウフウの軟化資材としては、もみ殻が適すると判断された。

4 その他の資料など